

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	電子デバイス工学 Electronic Device Engineering		単位 2
	一般・専門の別・ 学習の分野	専門・電気・電子	授業形態・学期	講義・前期
	対象学生	E C - 2	必修・選択の別	選択
	担当教員・所属	中村重之・総合理工学科電気電子システム系		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	工学/電気電子工学/電子デバイス・電子機器		
	専攻科学習目標との 関連	本科目は専攻科学習目標「(2)電気・電子、情報・制御に関する専門分野技術の知識を修得し、機械やシステムの設計・政策・運用に活用できる能力を身につける」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(A) 技術に関する基礎知識の深化、A-2:「電気・電子」に関する専門技術分野の知識を修得し、説明できること」であるが、付随的には「(A-1)」にも関与する。		
	授業の概要	現在の科学技術の急速な進歩は、基幹部品である電子デバイスの発展なしには語れない。本講座では電子デバイスの例として太陽電池を取り上げ、原理や特徴を解説するとともに英語の原著論文を講読する。		
	学習目的	電子デバイスの一つである太陽電池を理解するのに必要な基礎知識を習得し、その発電原理を理解する。さらに変換効率の向上のために必要な技術について学び、アイデアを考える。		
	到達目標	1. 電子デバイスの理解に必要な半導体物性の基礎を理解する。 2. 電子デバイスの応用としての太陽電池を理解する。 3. 英語の技術論文を原文で読み、その内容をまとめる力をつける。 ◎4. 技術論文をもとにディベート力を身につける。 5. 変換効率向上のためのアイデアを考える。		
履修上の注意		本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1 単位あたり授業時間として 15 単位時間開講するが、これ以外に 30 単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。		
履修のアドバイス		「電子工学」（電気電子、情報 3 年）の教科書を復習しておくこと。		
基礎科目		電子工学（電気電子、情報 3 年）、電気磁気学（電気電子、情報 3,4）、電子回路（電気電子 3、4、情報 4）、電気電子材料（電気電子 5）、光エレクトロニクス（電気電子 5）など		
関連科目		特別研究		

授業にかかわる情報				
授業の方法			前半は板書あるいはパワーポイントを中心に進めていくが、後半は各学生が最新の技術英語論文を調べ、それを個人ごとにまとめて発表し、他の学生からの質問を受けることにより、技術プレゼンテーション力の向上を図る。興味喚起のため、毎回、太陽電池に関する英語の報道等から話題提供を行う。	
授 業 計 画	開講週		授業時間内の学習内容〔項目〕 (指示事項)	授業時間外の学習内容〔項目〕 (指示事項)
	前 期	1 週	・ ガイダンス	・ 各自、太陽電池に関する最新（おおむね 2 年以内）の英語技術論文を読み、内容をまとめ、紹介する。 発表用パワーポイント作成 ・ 太陽電池の変換効率向上のためのアイデアをレポートにまとめる。
		2 週	・ 電子デバイスと半導体	
		3 週	・ 半導体物性の基礎	
		4 週	・ 太陽電池の動作原理と特性	
		5 週	・ 最近の技術動向	
		6 週	・ 最近の技術動向	
		7 週	・ 最近の技術動向	
		8 週	・ 最近の技術動向	
		9 週	・ 各自課題の発表と質疑応答	
		10 週	・ 各自課題の発表と質疑応答	
		11 週	・ 各自課題の発表と質疑応答	
		12 週	・ 各自課題の発表と質疑応答	
		13 週	・ 各自課題の発表と質疑応答	
		14 週	・ 各自課題の発表と質疑応答 (期末試験)	
		15 週	・ 期末試験の返却と解説	
教科書，教材等		教科書： 本科科目「電子工学」の教科書 参考書：伊藤，植月，中村「これからスタート！光エレクトロニクス」（電気書院） 市村正也「太陽電池入門」（オーム社）		
成績評価方法		レポート課題は指定した期日までに必ず提出すること。 定期テストの成績（50%）。試験には自筆ノートの持ち込みのみ許可する。 課題発表：レポート内容（40%），質問対応力（10%）。		
受講上のアドバイス		授業の開始時に出欠をとり，その際に返事がなく，その後入室してきた者は遅刻とする。遅刻 3 回で 1 回の欠席とする。20 分以上の遅刻は 1 欠課，65 分以上の遅刻は 2 欠課とする。授業時間以外の学習（予習と復習およびレポート課題）は行わなければならない。論文は原文で読む必要があるので技術英語力の向上も心がけること。		

ルーブリック							
	理想的なレベルの目安（優）		標準的なレベルの目安（良）		未到達レベルの目安（不可）		
評価項目 1	半導体中の電子のエネルギーレベルについて定量的に説明できる.		半導体中の電子のエネルギーレベルについて定性的に説明できる.		半導体中の電子のエネルギーレベルについて定性的にも説明できない.		
評価項目 2	太陽電池の発電メカニズムについてエネルギー準位図を用いて定量的に説明できる.		太陽電池の発電メカニズムについてエネルギー準位図を用いて定性的に説明できる.		太陽電池の発電メカニズムについてエネルギー準位図を用いて定性的にも説明できない.		
評価項目 3	英語の技術論文を読み, その内容を英語で発表できる.		英語の技術論文を読み, その内容を日本語で発表できる.		英語の技術論文を読み, その内容を日本語でも発表できない.		
評価項目 4	発表内容に関する質問に十分に答えられる.		発表内容に関する質問にある程度答えられる.		発表内容に関する質問にある程度答えられない.		
評価項目 5	実現の可能性が高い変換効率向上のためのアイデアを説明できる。		実現性には係わらず変換効率向上のためのアイデアを説明できる。		変換効率向上のためのアイデアを説明できない。		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合							
基礎的能力							
専門的能力	50	40					90
分野横断的能力		10					10